

○ 指導上のポイント

「書くこと」において、「推敲」する際の系統性を意識した指導（指導事項）

- 【低学年】・文章を読み返す習慣をつけること。
・間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりすること。
- 【中学年】・間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているか確かめたりして、文や文章を整えること。
- 【高学年】・文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えること。

段落を意識して書く指導

- 段落には、改行によって示されるいくつかの文のまとまりである**形式段落**と、その形式段落のいくつかの意味のつながりの上でひとまとまりになった**意味段落**とがある。
- 内容のまとまりで段落をつくる。段落は始めの一字分を下げて書き始める。
- 右図のように、段落に分かれていない文章と段落に分けた文章を視覚的に比較して、気づいたことを話し合わせるとよい。
- 「書くこと」の授業では、内容の中心が明確か、内容のまとまりで段落が分かれているかなど、児童自身やペアで見合いながら、書いた文章について振り返りをさせるとよい。

く	調	女	わ	●	の	る	の	わ	●
さん	べる	の子	わたし	段落に分けた文章	の	方	子	わたし	段落に分かれていない文章
の	方	について	は、		っ	ほう	につ	は、	
つ	ほう	いて	パ		て	は、	いて	パ	
て	は、	調	ケ		本	月	調	ケ	
い	月	べ	ツ		で	の	べ	ツ	
る	の	た	を		調	こ	た	を	
本	こ	い	持		べ	と	い	持	
で	と	で	っ		ま	が	で	っ	
調	が	す	て		す	た	す	て	
べ	が	。	い		。	く	。	い	
ま	た		る		さん	さん	調	る	
す	。						べ		
。							ま		
							す		
							。		



段落が分かっていたほうが読みやすいね。

文章がつながっていると、読みにくいよ。



条件に沿って書く指導

- 下記のような例題や県学調復習シート等を活用し、条件に合わせて文章を書かせる。さらに書いた後、条件のとおり書けているかを項目ごとにチェックさせるとよい。

○ 復習シート・コバトン問題集等の活用



【出典】
平成25年度
「3つの達成目標
検証問題」
読む・書く小3

4行

- ② クラスの友だちに、すきな乗り物（電車・バス・船・飛行機・自転車・一輪車など）を文章に書いて、しようかします。次のことに注意して書きましょう。
- ※ 注意すること
- ◎ 題名や名前は書かないで、本文から書きはじめましょう。
 - ① 二つの段落で書きましょう。
 - ② 一つめの段落には、すきな乗り物を書きましょう。
 - ③ 二つめの段落には、すきなわけや、乗っているときの気持ちなどを書きましょう。
 - ④ 句点（。）や読点（、）に気をつけて、四行より多く書きましょう。